

# 整備技術 整備部会

## メンテナンスパーツのインターネット受発注システム

整備技術委員会

### 1. 建設機械業界の現状

パーツカタログのCD化は進展しているが、いまだ印刷物を配布する企業も多い。

パーツカタログが印刷物である場合、一部の改訂でも全ページ、全部数種の印刷直しとなる。工数や経費がかなり、煩わしさや精神的負担も大きい。

大手企業はライフサイクルの長い汎用型製品を市場へ提供し、中堅メーカーは多品種少量型の比較的短命型な製品で勝負をしている。

実は多品種少量型製品を主力とする中堅メーカーに印刷物のパーツリストが多く見受けられる。

印刷物はパーツネームやパーツナンバー自体が間違っていたり、記入ミス等で販売店とのトラブルが絶えない。新製品の市場導入や立上げにも影響する。

### 2. Visualpilot

すでにCD化を実現している企業も、まだ印刷物に対応している企業でも、インターネットを利用したビジネスが今後は必須である。これを低コストで手軽に実現できるパッケージが日立システムアンドサービスの提供する「Visualpilot」である。

以下にこのソフトの概要を説明しよう(図-1, 図-2, 表-1 参照)。

- ① CADデータ (Auto CAD/DWG, DXF), 画像データ (デジタルカメラ, Tiff等のラスターデータ),

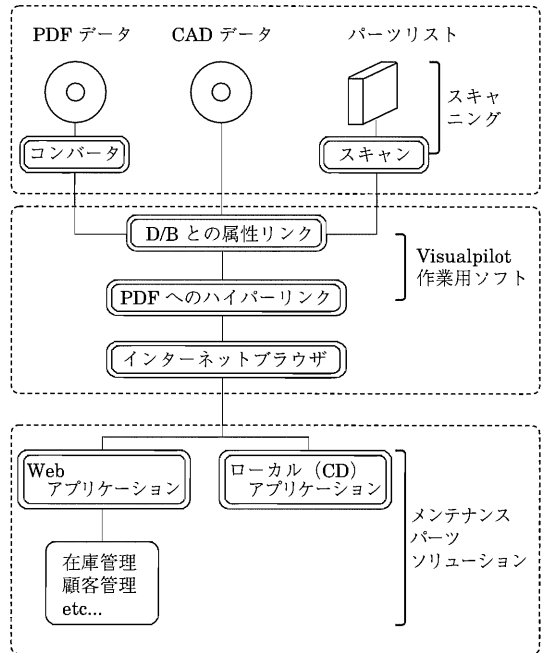


図-1 Visualpilot 作業パッケージソフト (印刷物のデジタル化から Web 送受信までのシステム構築を行う)。

表-1 仕様

パッケージ構成	3クライアント/1パッケージ+ソリューション構成サンプル	
標準価格	1,700,000円	
動作環境	OS	Windows95, 98, NT, 2000
	ハードウェア	Pentium II 以上
	メモリー	128 MB 以上
	HD (空き容量)	60 MB 以上
	CRT 解像度	800×600 (SVGA) 以上

ワード, 一太郎, エクセル (CSV) 等のテキストデータを取込んで加筆・修正できる。したがって、印刷物の元データは問わない。

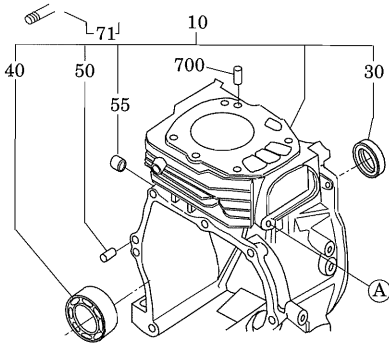
- ② 画像, CAD, テキストの任意部分に属性を埋込み, これをクリックするだけで Data Base (D/B) 上から必須項目を引出すことが出来る。
- ③ 属性埋込み完了後, 一気に PDF に変換できる。これによってブラウザ上での操作が可能となる。

### 3. 受発注システムの構築

Visualpilot の特長を挙げると次のようである。

- ① インターネットでの送受信にあたって取り引き業者

整備技術



風船をクリックするとD/Bを引出す

発注情報 MPS1\_USER001

部品の詳細を確認後、発注数を入力してください

項目	
MODL_NAME	PJ-1904NX
FIG_PAGE	CATDC01A
REF_KEY	MS-0503008T
部品名称	ナベ小ネジ M3×8 (W)
部品番号	MS-05030081
PARTS_NAME	Visualpilot test
個数	1
採用履歴	2000/5/11
採用履歴	
価格	100
備考	Visualpilot test

発注書リスト一覧 MPS1\_USER001

クリックした風船のD/Bは発注リストとして蓄積される

model	fig	ref	部品番号	part name
PJ-1204NX	CAT0001A	WN-38788	WN-38766	左カバー取付板
PJ-1304NX	CAT0001A	WN-	WN-	名称シール
PJ-1304NX	CAT0001A	WN-	WN-	左カバー取付板
PJ-1304NX	CAT0001A	E-NG-19-R	E-NG-19-R	クロメット
PJ-1304NX	CAT0001A	E-NG-19-R	E-NG-19-R	クロメット
PJ-1304NX	CAT0001A	NS-05030081	NS-05030081	ナベ小ネジM3×8(W)
PJ-1304NX	CAT0001A	NS-05030081	NS-05030081	ナベ小ネジM3×8(W)

図-2 Visualpilotの作業

はブラウザとアクロバッテリーダさえあれば費用負担は一切必要ない。

- ② 電話やファクスでのやり取りと異なり、転記ミスがなくなり、タイムリーな送信が可能。カタログ改訂の折しもD/Bやイラストの一部手直しで十分である。
- ③ 必要に応じて、伝票形式での送信、既存の在庫管理や顧客管理、価格や仕切り管理データとのリンクも可能となる。

インターネットブラウザに表示可能となったデータをどのような方法でやり取りするかはユーザの要望や事情によって異なる。様々な手法があるので、次に代表的な2例を紹介する。

4. 受発注システムの代表例

(1) Webアプリケーション方式(図-3参照)

インターネット回線をとおして直接やり取りするオンラインシステムである。社内かホスティングのサーバを

立てる必要があるが、社内で運用されているシステムとのリンケージがスムーズで、即刻、在庫の有無、新規顧客の信用調査、仕切り率などの回答が得られる。

(2) ローカル検索方式(図-4参照)

販売店や取引業者へイラストデータとD/Bを内蔵させたCDを配布し、発注リスト作成の後、ファクシミリや自動送信やEメールで送信してもらうシステムである。サーバを立てる必要が無く、販売店や取引業者の様子を確認しながら本格的なWebシステムへ移行する前段階で活用するには便利で安価なシステムと言える。

以上述べたように、このシステムは

- ① スキャンニング作業部分、
- ② Visualpilotでの作業部分、
- ③ ユーザの利用方法や既存システムとリンクする部分、

の3要素から構成される。必要に応じてユーザと当社が打合わせをしながら協同で作業をすすめる場合もある

整備技術

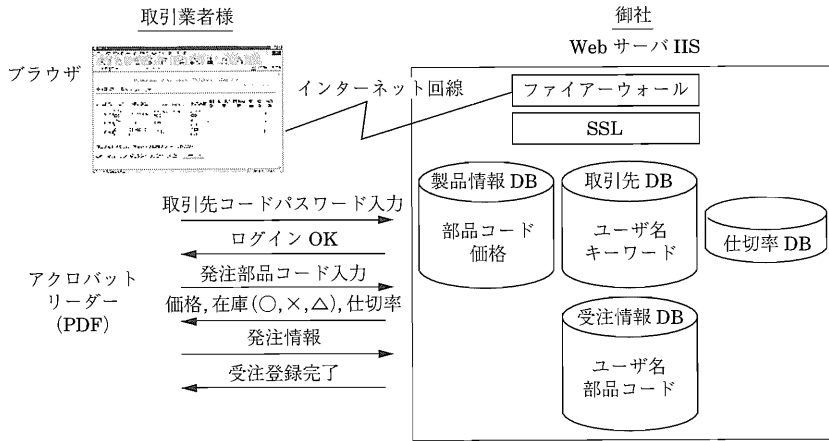


図-3 受発注システム (Webシステム)

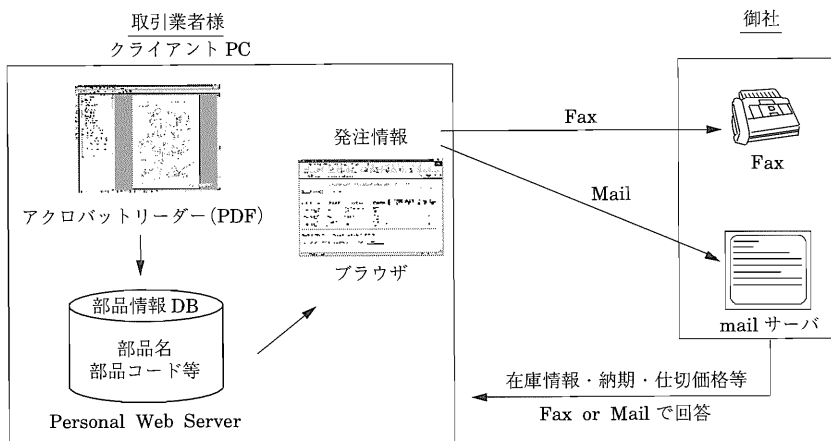


図-4 受発注システム (ローカル検索方式); 相模原市 M.T. 社導入事例

が、当社へすべて委託される場合もある。

自社の体制やインフラストラクチャ、販売資産を勘案しながら、必要部分から着手されることをお勧めしたい。

販売元/問合せ先：

株式会社日立システムアンドサービス  
 オープンソリューション事業部第1営業部  
 〒140-0013 東京都品川区南大井 6-26-3  
 大森ベルポート D 館  
 電話 03 (3762) 1171  
 ファクシミリ 03 (3762) 2499